

平成25年度

海老名市予算案の概要



えびな

あなたのフィールドへ。海老名市

平成 25 年 2 月

海老名市



平成 25 年度海老名市予算案の概要

～次代へつなぐ新たなまちづくり～

「元気な海老名を継続する予算」

政権交代による国予算編成の大幅な遅れなどが、地方自治体の予算編成にも大きな影響を与えることとなりました。国の政策が大きく方向転換する中、長年続いた円高やデフレから脱却し、雇用や所得の拡大により、日本経済が力強く再生することが期待されております。

平成 25 年度は第四次総合計画後期基本計画初年度であることから、将来都市像実現に向けて、「今の海老名市には何が必要なのか」「将来の海老名市のために、今何をすべきか」という観点から「選択と集中」に取り組み予算を編成いたしました。

「持続可能な都市経営」の理念のもと、ハード・ソフト両面にわたる「次代へつなぐ新たなまちづくり」を力強く推進するために、「元気な海老名を継続する予算」を編成いたしました。

(端数処理の関係上、合計や内訳が一致しない場合があります。)

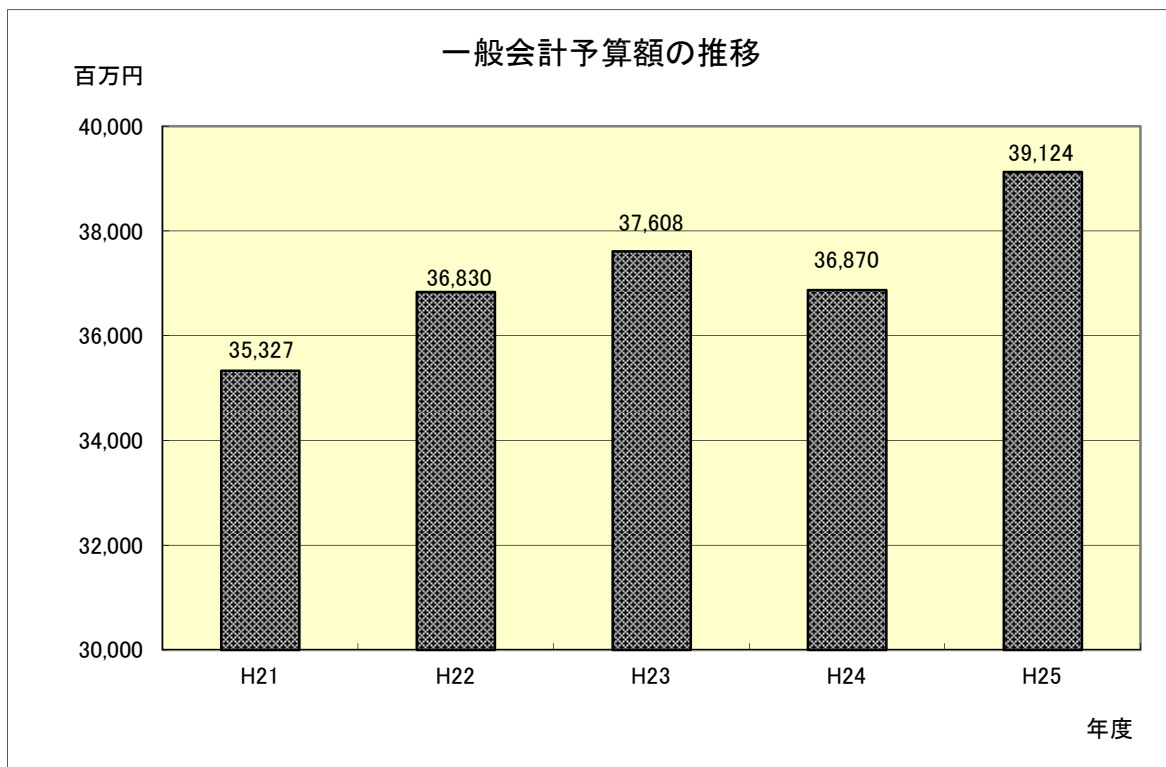
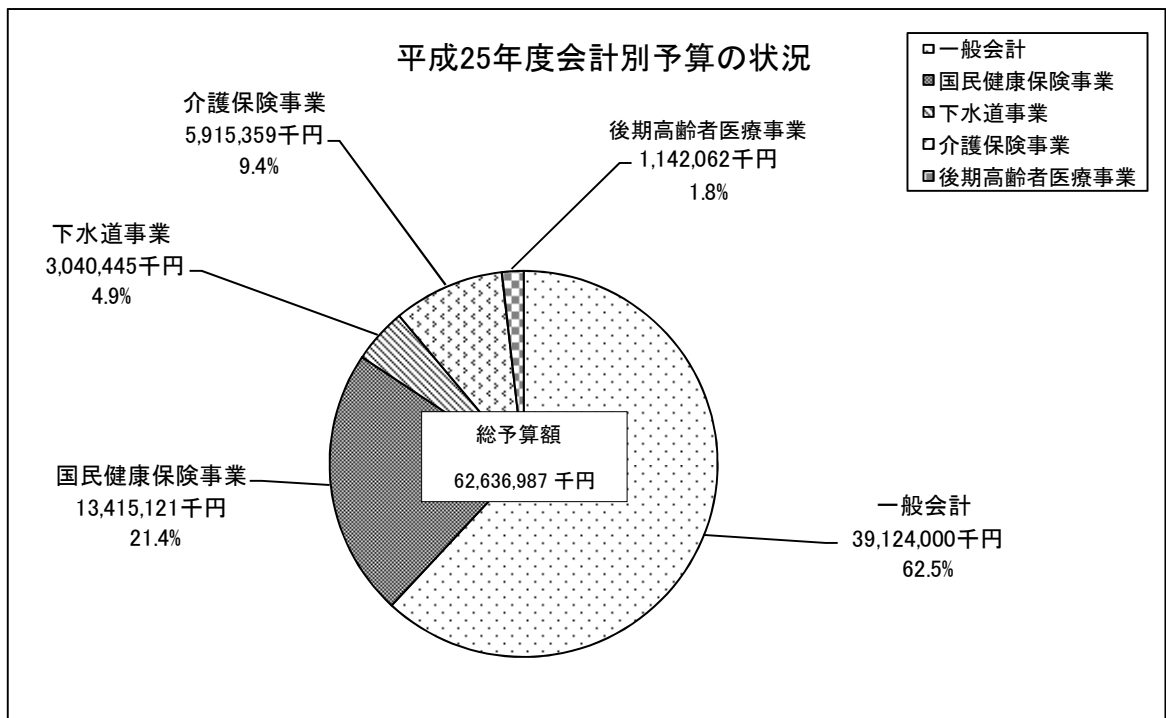
1 予算規模

平成 25 年度一般会計の予算規模は 391 億 24 百万円(前年度比 22 億 54 百万円、6.1%の増)となりました。国の補正予算を有効に活用するために、平成 24 年度の補正予算に前倒しを予定している事業を含めると、400 億円を超える規模となります。(庁舎建設を行った昭和 63 年度を除き、過去最大規模となります。)

特別会計を加えた総予算規模は、626 億 37 百万円(前年度比 30 億 46 百万円、5.1%の増)となり、過去最高規模となりました。

(単位:千円)

会 計 名		平成 25 年度 当初予算額 (A)	平成 24 年度 当初予算額 (B)	比較 (C)=(A)-(B)	対前年度 伸 率 (C)/(B)*100
一般会計		39,124,000	36,870,000	2,254,000	6.1%
特別会計	国民健康保険事業	13,415,121	13,307,605	107,516	0.8%
	下水道事業	3,040,445	2,796,393	244,052	8.7%
	介護保険事業	5,915,359	5,541,359	374,000	6.7%
	後期高齢者医療事業	1,142,062	1,075,140	66,922	6.2%
	小 計	23,512,987	22,720,497	792,490	3.5%
合 計		62,636,987	59,590,497	3,046,490	5.1%



Q 一般会計の予算額が前年より大幅に伸びているけど、どうしてなの？

A 今、海老名市は将来の税収増加につながる「次代へつなぐまちづくり」を行っています。海老名市の成長戦略に基づくハード事業を行っている一方、様々なソフト面での市民サービスの充実にも取り組んでいることから、予算規模が伸びているんです。

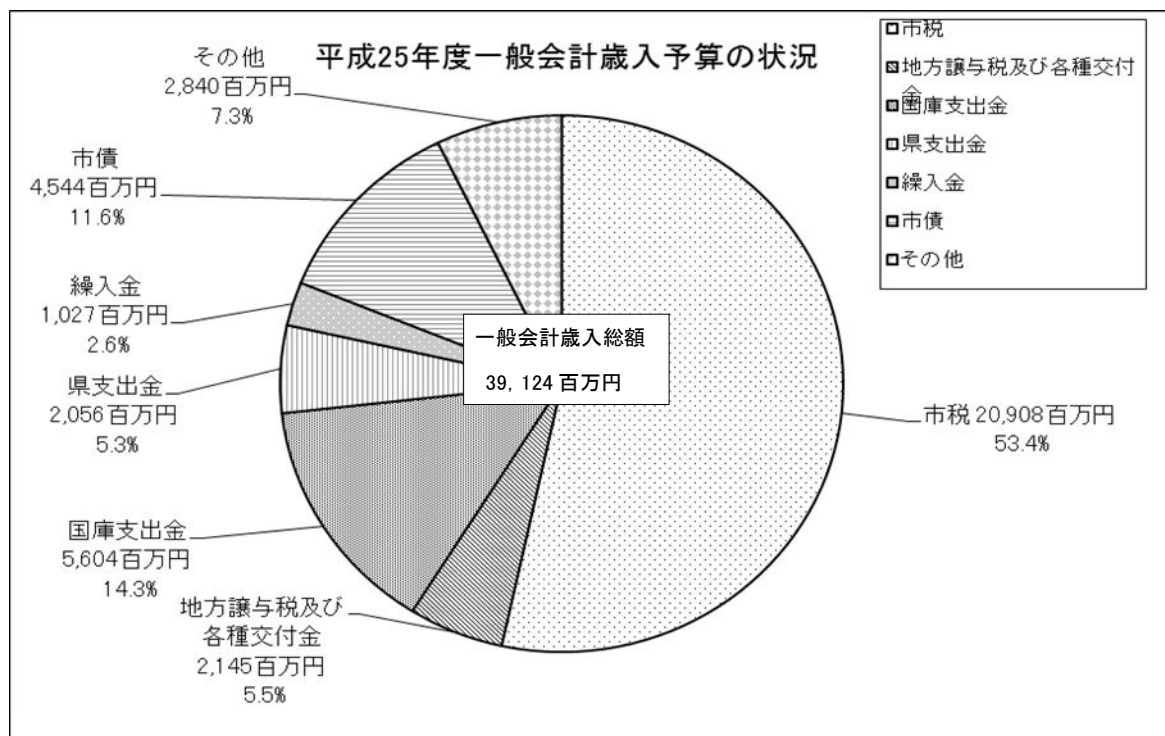
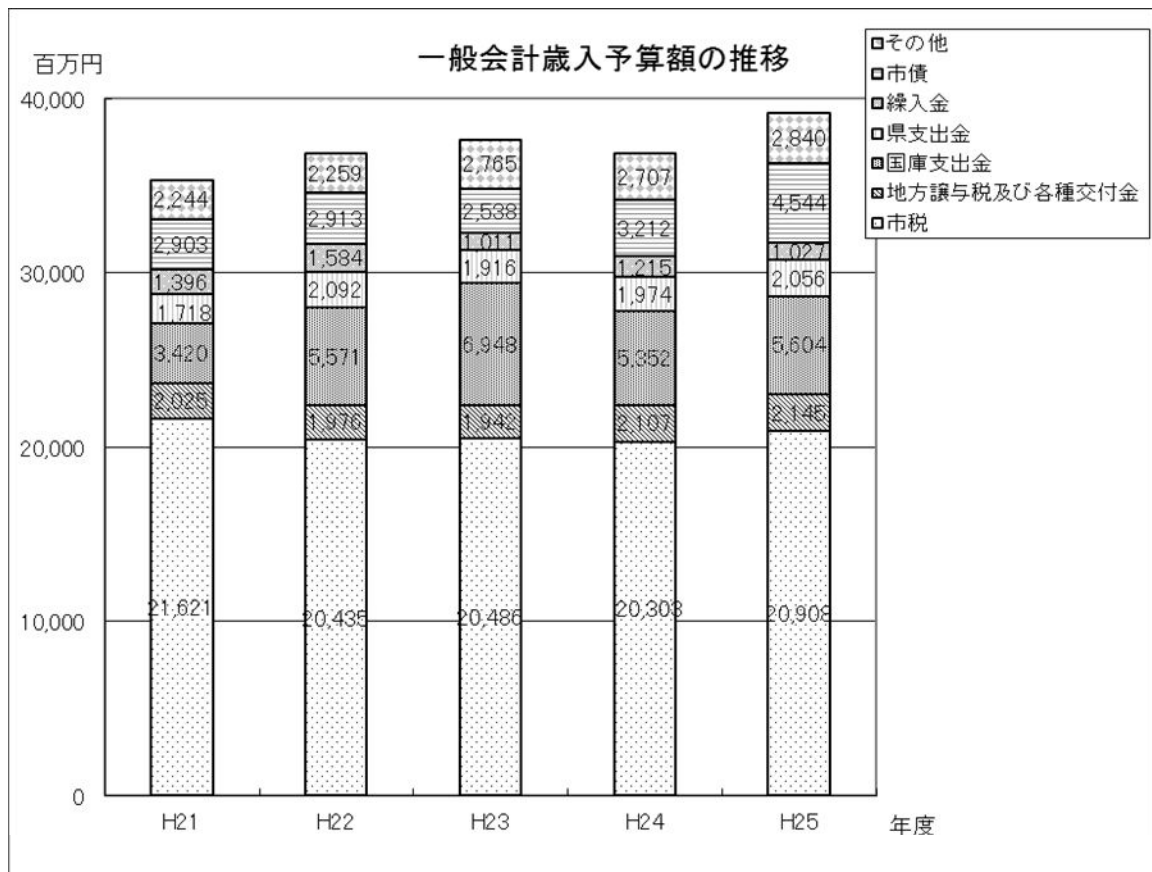
2 一般会計歳入の状況

市税全体では209億8百万円(前年度比6億4百万円、3.0%の増)となりました。普通建設事業費の増加などに伴い、国庫支出金が56億4百万円(前年度比2億53百万円、4.7%の増)となりました。市債(45億44百万円)と新まちづくり基金繰入金(8億91百万円)をバランスよく活用し、次代へつなぐまちづくりを推進します。

(単位:千円)

	予算額		比較		構成比	
	H25年度	H24年度	増減額	伸び率	H25年度	H24年度
市税	20,907,802	20,303,355	604,447	3.0%	53.4%	55.1%
うち個人市民税	8,393,837	8,231,988	161,849	2.0%	21.5%	22.3%
うち法人市民税	1,342,637	1,172,707	169,930	14.5%	3.4%	3.2%
うち固定資産税	8,948,804	8,811,347	137,457	1.6%	22.9%	23.9%
地方譲与税及び各種交付金	2,144,881	2,106,897	37,984	1.8%	5.5%	5.7%
国庫支出金	5,604,423	5,351,774	252,649	4.7%	14.3%	14.5%
うち普通建設事業費充当分	1,116,738	916,254	200,484	21.9%	2.9%	2.5%
県支出金	2,056,301	1,974,243	82,058	4.2%	5.3%	5.4%
繰入金	1,027,259	1,215,274	△ 188,015	△ 15.5%	2.6%	3.3%
うち新まちづくり基金繰入金	891,000	1,100,000	△ 209,000	△ 19.0%	2.3%	3.0%
市債	4,543,700	3,211,600	1,332,100	41.5%	11.6%	8.7%
その他	2,839,634	2,706,857	132,777	4.9%	7.3%	7.3%
歳入総額	39,124,000	36,870,000	2,254,000	6.1%	100.0%	100.0%

- 市税のうち個人市民税は、給与所得や営業等所得の増を見込んだことなどにより、前年度比1億62百万円、2.0%の増加となり、法人市民税は企業収益の若干の改善などを見込んだことにより、前年度比1億70百万円、14.5%の増加となりました。
- 国・県からの地方譲与税・各種交付金等は、21億45百万円で、前年度比38百万円、1.8%の増となりました。普通交付税は2億円を見込んでおります。
- 国庫支出金は56億4百万円で、前年度比2億53百万円、4.7%の増となりました。普通建設事業費の増加に伴う社会資本整備総合交付金の増額(前年度比1億29百万円、14.2%の増)などが主な要因です。
- 繰入金は10億27百万円で、前年度比1億88百万円、15.5%の減となっています。これは、翌年度以降に予定されている事業などを勘案し、新まちづくり基金からの繰入金を前年度比2億9百万円の減としたことが主な要因です。
- 市債は45億44百万円で、前年度比13億32百万円、41.5%の大幅な増となりましたが、第2回海老名みのり債の借換債(※1)3億75百万円が含まれており、実質的な新規発行額は41億69百万円となります。なお、臨時財政対策債(※2)は5億円見込んでおります。



Q 市税が 209 億円もあるけど、市民一人当たりだと、いくらくらいになるのかな？

A 平成 25 年 1 月 1 日の住民基本台帳人口で計算すると、164,467 円になります。平成 23 年度の決算では 161,902 円で、政令市を除く県内 16 市(以下、「県内市」という)の中で、7 番目に多かったんですよ。

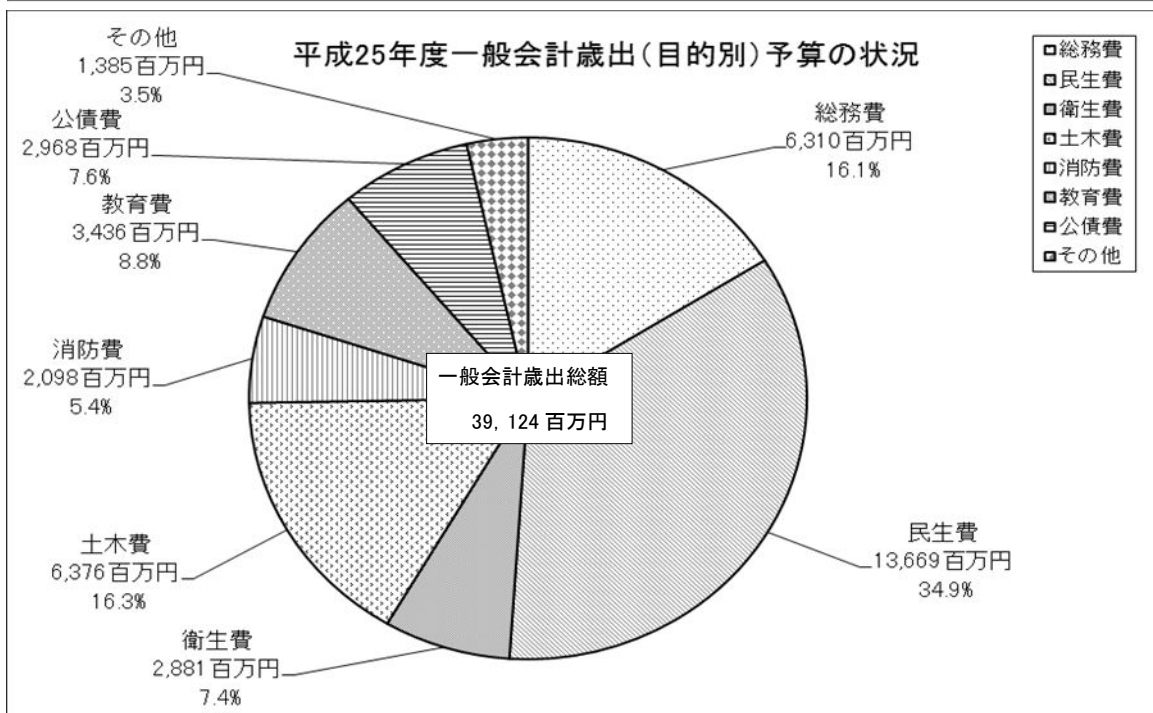
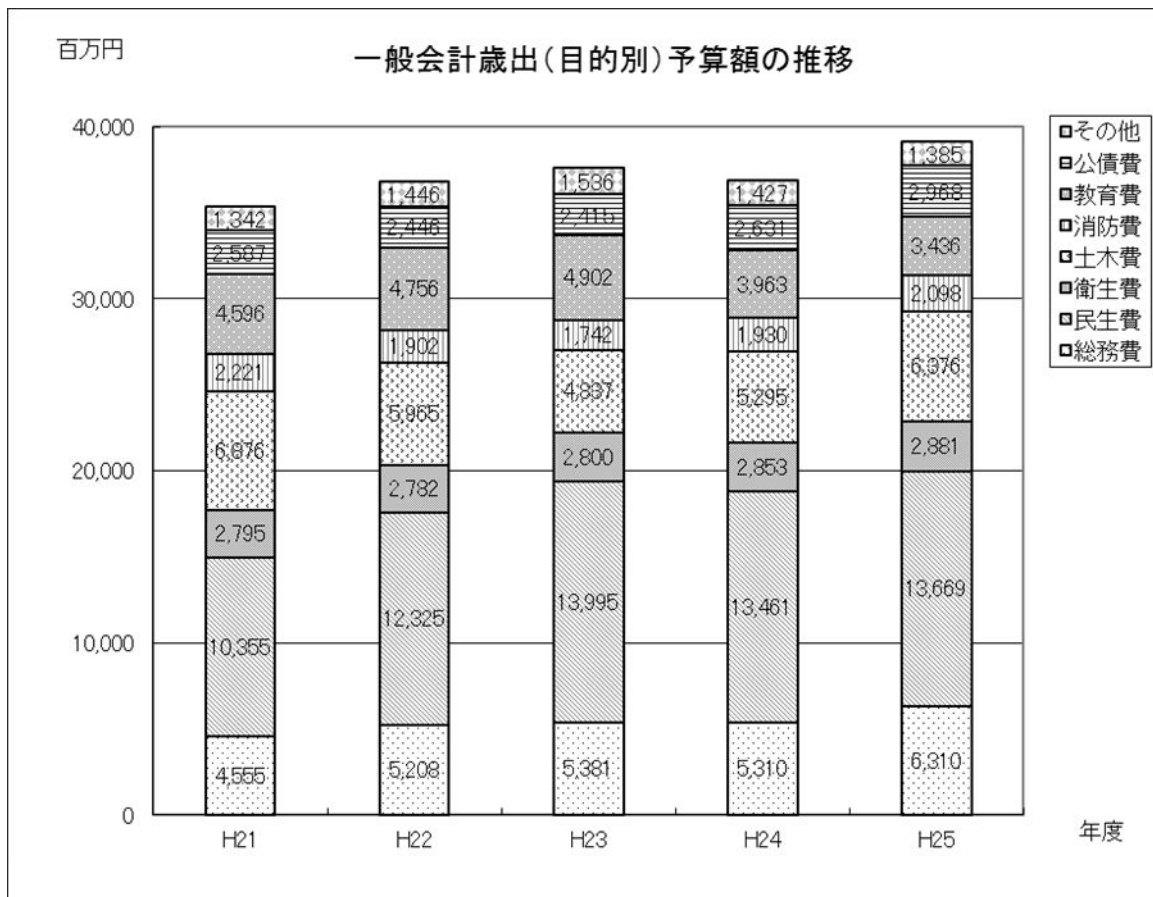
3 一般会計歳出（目的別）※3の状況

総務費は 10 億円、18.8%、土木費は 10 億 81 百万円、20.4%と大幅に増加しましたが、民生費は、2億8百万円、1.5%の増となり、伸び率が鈍化しました。また、教育費は、前年度に比べて5億 26 百万円、13.3%の減となりましたが、実質的には事業内容の充実を図っております。

(単位:千円)

	予算額		比較		構成比	
	H25 年度	H24 年度	増減額	伸び率	H25 年度	H24 年度
議会費	314,426	320,082	△ 5,656	△ 1.8%	0.8%	0.9%
総務費	6,309,896	5,309,635	1,000,261	18.8%	16.1%	14.4%
民生費	13,668,989	13,460,777	208,212	1.5%	34.9%	36.5%
衛生費	2,881,176	2,853,358	27,818	1.0%	7.4%	7.7%
労働費	233,329	234,948	△ 1,619	△ 0.7%	0.6%	0.6%
農林水産業費	322,111	314,064	8,047	2.6%	0.8%	0.9%
商工費	312,559	349,598	△ 37,039	△ 10.6%	0.8%	0.9%
土木費	6,375,720	5,294,927	1,080,793	20.4%	16.3%	14.4%
消防費	2,098,119	1,930,060	168,059	8.7%	5.4%	5.2%
教育費	3,436,397	3,962,704	△ 526,307	△ 13.3%	8.8%	10.7%
災害復旧費	1,000	1,000	0	0.0%	0.0%	0.0%
公債費	2,968,326	2,631,307	337,019	12.8%	7.6%	7.1%
諸支出金	151,952	157,540	△ 5,588	△ 3.5%	0.4%	0.4%
予備費	50,000	50,000	0	0.0%	0.1%	0.1%
歳出総額	39,124,000	36,870,000	2,254,000	6.1%	100.0%	100.0%

- 総務費は、(仮称)市民活動健康増進施設建設事業やコミュニティセンター等大規模改修事業の増額などにより、前年度比 10 億円、18.8%の大幅な増加となりました。
- 土木費の増加は、海老名駅等周辺土地地区画整理事業や海老名駅自由通路整備（駅間部及び西口部）事業、さらには、市営住宅大規模改修事業などにより、前年度比 10 億 81 百万円、20.4%の増加となりました。安全・安心、そして快適に暮らせるためのまちづくりを推進してまいります。
- 消防費は、市民の安全・安心に向けた各種事業のほか、3市（海老名市・座間市・綾瀬市）消防通信指令業務共同運用に伴う共同指令センター建設関連事業などにより、前年度比 1 億 68 百万円、8.7%の増加となりました。
- 教育費は、小中学校施設整備事業費の平成 24 年度補正予算への前倒しなどにより、34 億 36 百万円（前年度比 5 億 26 百万円、13.3%減）となりましたが、特別支援教育や少人数指導、さらには ICT 教育の推進、きれいで居心地のよい学校づくり事業、いじめ対策などにより、児童・生徒の学習環境向上に取り組めます。



Q 民生費は何でこんなに多いの？

A 少子高齢化の急速な進行や景気低迷などにより、生活保護費、高齢者のための経費、児童手当などの社会保障に関する制度や対象者が増えているからです。これは海老名市だけではなく、全国的な傾向なんですよ。

なお、平成25年度は伸び率が鈍化しました。

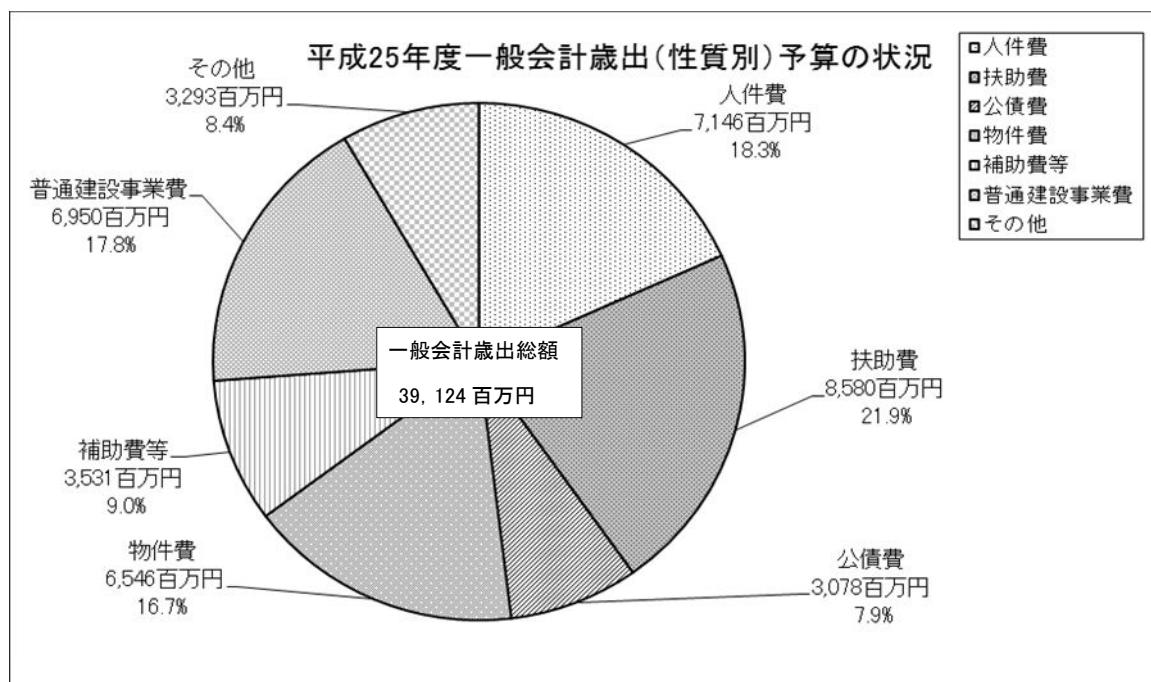
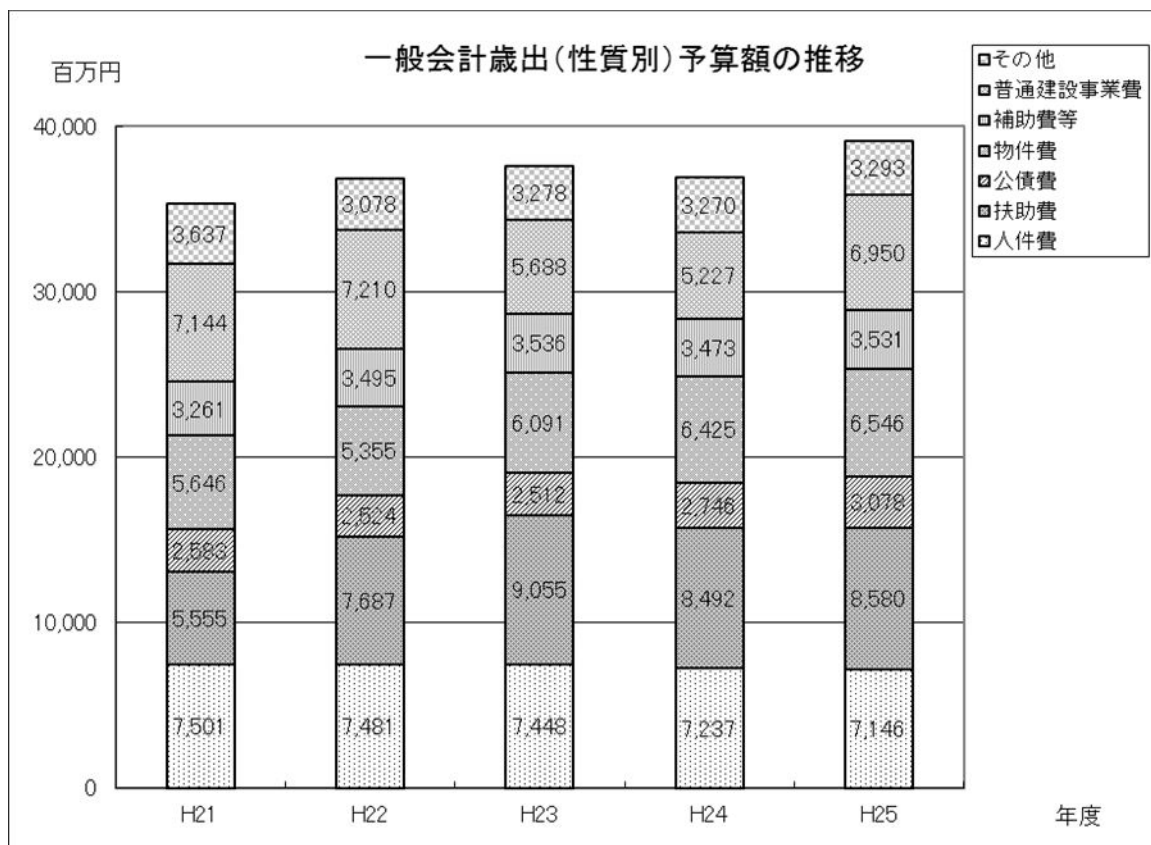
4 一般会計歳出（性質別）※4の状況

義務的経費は188億4百万円(前年度比3億30百万円、1.8%の増)となり、消費的経費は105億73百万円(前年度比1億61百万円、1.6%の増)、投資的経費は69億51百万円(前年度比17億22百万円、32.9%の増)となりました。

(単位:千円)

	予算額		比較		構成比	
	H25年度	H24年度	増減額	伸び率	H25年度	H24年度
義務的経費(1)+(2)+(3)	18,804,254	18,474,271	329,983	1.8%	48.1%	50.1%
(1)人件費	7,146,030	7,236,721	△90,691	△1.3%	18.3%	19.6%
(2)扶助費	8,580,311	8,491,690	88,621	1.0%	21.9%	23.0%
(3)公債費	3,077,913	2,745,860	332,053	12.1%	7.9%	7.4%
消費的経費(4)+(5)+(6)	10,573,319	10,411,898	161,421	1.6%	27.0%	28.2%
(4)物件費	6,546,211	6,425,216	120,995	1.9%	16.7%	17.4%
(5)維持補修費	496,297	513,635	△17,338	△3.4%	1.3%	1.4%
(6)補助費等	3,530,811	3,473,047	57,764	1.7%	9.0%	9.4%
投資的経費(7)+(8)	6,950,560	5,228,377	1,722,183	32.9%	17.8%	14.2%
(7)普通建設事業費	6,949,560	5,227,377	1,722,183	32.9%	17.8%	14.2%
補助	6,059,219	1,864,332	4,194,887	225.0%	15.5%	5.1%
単独	888,841	3,363,045	△2,474,204	△73.6%	2.3%	9.1%
うち他団体負担金	0	5,460	△5,460	皆減	0.0%	0.0%
(8)災害復旧事業費	1,000	1,000	0	0.0%	0.0%	0.0%
その他の経費	2,795,867	2,755,454	40,413	1.5%	7.1%	7.5%
歳出総額	39,124,000	36,870,000	2,254,000	6.1%	100.0%	100.0%

- 財政硬直化の要因となる義務的経費は、前年度比3億30百万円、1.8%の増額となりました。扶助費の伸びが鈍化したものの、公債費が大幅に増額となりました。なお、公債費には第2回海老名みのり債償還分5億円が含まれております。
- 扶助費は、障がい者自立支援給付費などが大幅に伸びているものの、生活保護費の伸び率が鈍化したことなどにより、前年度比89百万円、1.0%の増額に抑制されました。しかしながら、今後の社会経済情勢などに起因する扶助費の動向については、注視が必要です。
- 物件費は、予防接種事業の充実に伴う増額や、平成24年度中にえびな市民活動センター交流館が完成したことに伴い、維持管理費が通年になることによる増額などにより、前年度比1億21百万円、1.9%の増加となりました。
- 普通建設事業費は、前年度比17億22百万円、32.9%の大幅な増となりました。なお、国庫補助金の有効活用を図るため、平成24年度中の補正予算において、多くの繰越明許費を設定しており、将来の海老名市のために、今やらなければならない「次代へつなぐまちづくり」を推進しております。



Q 普通建設事業費が前年に比べて大幅に増えているけど、県内他市に比べると海老名市は多いの？

A 平成23年度決算では、県内市の中で、市民一人当たりでは1番多かったですよ。少子高齢社会が進行しても、市民サービスを維持していくための先行投資として、厳しい財政状況の中でも、「次代へつなぐまちづくり」を推進しているからです。

5 基金及び市債残高の推計

平成 25 年度末の基金残高は 46 億 58 百万円(前年度末比 8 億 78 百万円、15.9%の減)、市債残高は 412 億 69 百万円(前年度末比 17 億 62 百万円、4.5%の増)となる見込みです。

(単位:千円)

	平成 23 年度末	平成 24 年度末		平成 25 年度末	
	金額	金額	増減額	金額	増減額
基金残高	7,271,234	5,536,209	△ 1,735,025	4,658,402	△ 877,807
財政調整基金	2,456,695	2,388,459	△ 68,236	2,399,529	11,070
新まちづくり基金	4,412,923	2,744,625	△ 1,668,298	1,866,961	△ 877,664
その他基金	401,616	403,125	1,509	391,912	△ 11,213
市債残高	36,060,609	39,507,255	3,446,646	41,268,781	1,761,526
一般会計	21,551,739	24,807,916	3,256,177	26,713,951	1,906,035
下水道事業	14,508,870	14,699,339	190,469	14,554,830	△ 144,509

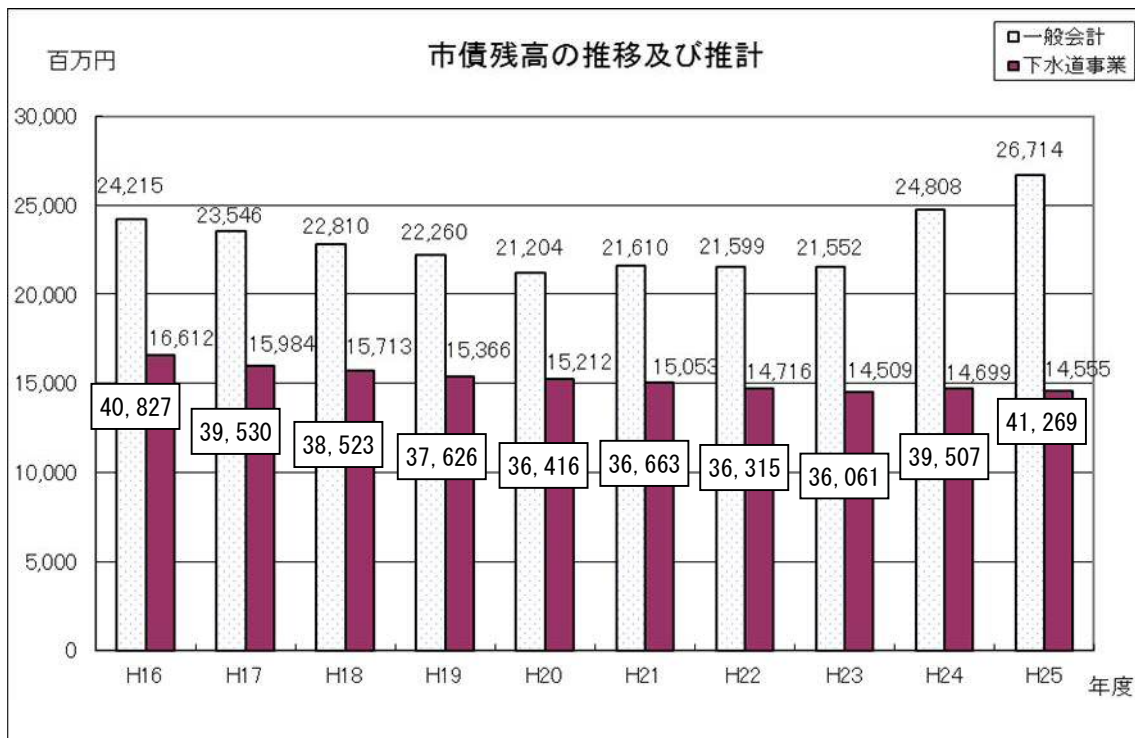
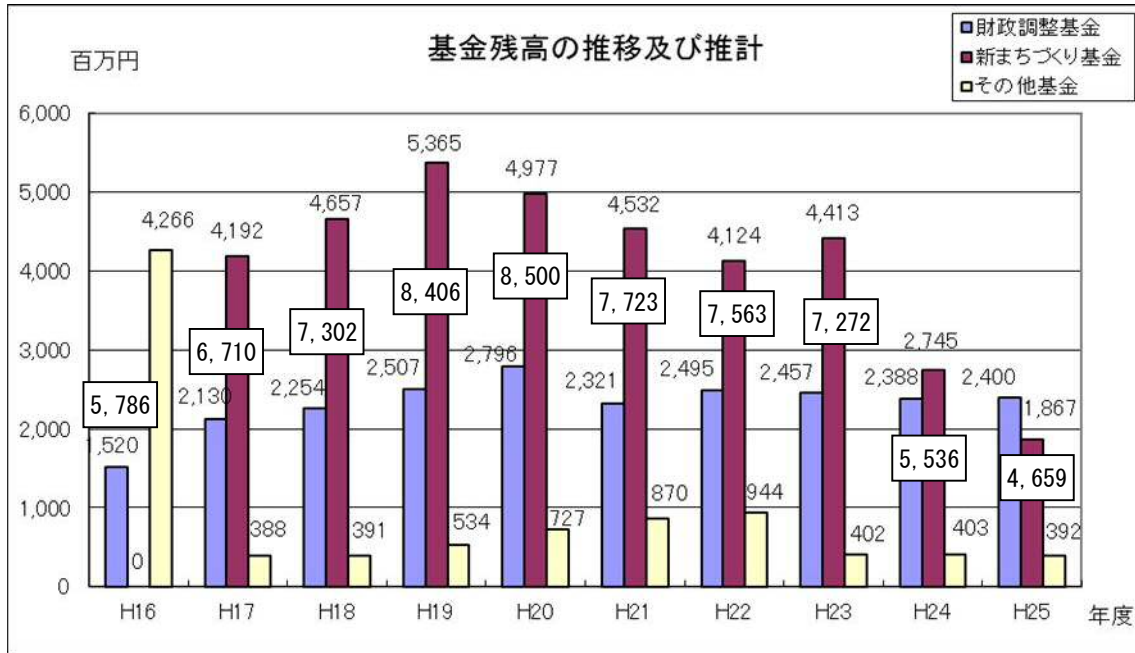
【参考:市民一人あたり残高】

(単位:円)

	平成 23 年度末	平成 24 年度末		平成 25 年度末	
	金額	金額	増減額	金額	増減額
基金残高	57,409	43,550	△ 13,859	36,645	△ 6,905
財政調整基金	19,396	18,788	△ 608	18,875	87
新まちづくり基金	34,842	21,590	△ 13,251	14,686	△ 6,904
その他基金	3,171	3,171	0	3,083	△ 88
市債残高	284,711	310,777	26,067	324,634	13,857
一般会計	170,158	195,147	24,989	210,141	14,994
下水道事業	114,552	115,630	1,077	114,493	△ 1,137

※平成 24 年度末及び平成 25 年度末における市民一人当たり残高を推計するに当たり、平成 25 年 1 月 1 日現在の住民基本台帳人口(127,124 人)を用いて算定しております。

- 平成 25 年度末の市債残高は増加、基金残高は減少が見込まれますが、双方のバランスに留意して活用することにより、後年度のまちづくりにも十分活用できる余力を確保しております。
- まちづくりの本格化に備え、近年は計画的に市債の借入抑制を図ってまいりました。したがって、「まちづくりの正念場」を迎えている現在、計画的な活用を図ります。
- 同様に、新まちづくり基金についても計画的に積み立てており、現在、活用の時を迎えております。なお、事業実施時期の前倒しなどにより、国庫補助金を有効に活用するなど、「戦略的都市経営」により、今後も基金や市債を有効に活用いたします。
- 災害復旧や財源が不足したときのための財政調整基金は、常に一定程度の残高を確保し、安定的な財政運営を可能としております。



※ H23 までは年度末実績残高、H24 及び H25 は年度末残高見込みです。



Q 貯金(基金)が減って、借金(市債)が増えるみたいだけど、大丈夫なの？

A 海老名市は今、「まちづくりの正念場」なので、基金や市債をバランス良く活用し、将来に向けたまちづくりを推進していることが理由なのです。それでも、平成 23 年度決算では、県内市の中で、市民一人当たりでは基金は 3 番目に多く、市債は一番少なかったのですよ。また、近年の市債借入抑制により、過去最高残高 (H12 : 43,050 百万円) に比べ、H25 でも 18 億円近く少ない残高であることから、十分に活用の余地が残されているのです。

6 特別会計予算の概要

(1) 国民健康保険事業特別会計

国民健康保険事業特別会計は、保険加入者の高齢化の進行による医療費の増加と経済情勢の低迷による低所得者層の増大・負担能力の低下など、制度を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。このような状況下にあっても、地域住民の健康を守るという国民健康保険の役割を確実に担うため、引き続き、保険料収納率の向上、医療費適正化に向けた効果的・効率的な取り組みに努め、国民健康保険財政の安定化に取り組んでまいります。

平成 25 年度は不足する財源に対し、国保財政調整基金からの繰り入れと一般会計からの繰り入れで対応しております。

予算総額は前年度に比べ 1 億 8 百万円、0.8%増の 134 億 15 百万円です。

(2) 下水道事業特別会計

道路や宅地等の浸水被害を未然に防ぎ、安全で快適な住環境の向上を図るため、雨水幹線等を計画的に整備してまいります。

また、平成 23 年度から着手している市街化調整区域内における污水管の幹線整備を推進します。引き続き、本郷、中河内地区の下水道整備に向けて幹線等の整備を進めます。

維持管理については、定期的な既設管渠の保守点検と損傷箇所の補修工事等を行うとともに、下水道管渠等の長寿命化対策を推進します。

平成 25 年度は社会資本整備総合交付金や市債の活用などにより、特別会計の独立性を高めるとともに、中長期的な視点から資本費平準化債を活用することにより、財政負担の平準化を図っております。

予算総額は前年度に比べ 2 億 44 百万円、8.7%増の 30 億 40 百万円です。

(3) 介護保険事業特別会計

平成 12 年度の制度創設以降、制度の周知が進んだことや、高齢化の進行により、介護サービスを受ける高齢者は年々増加しております。また、介護事業所や介護老人福祉施設などの介護サービスの基盤整備も進んできております。さらに、度重なる制度改正により高齢者の暮らしを支える社会保障制度の中核として確実に機能し、必要不可欠な事業となっております。

平成 25 年度は第 5 期介護保険事業計画の 2 年目にあたります。介護基盤の整備とサービス向上を図るとともに保険給付の適正化と健全な財政運営に努め、介護保険制度の理念である高齢者の自立した生活の支援を進めてまいります。

予算総額は前年度に比べ 3 億 74 百万円、6.7%増の 59 億 15 百万円です。

(4) 後期高齢者医療事業特別会計

超高齢社会を展望した新たな医療保険制度体系を実現するため、現役世代と高齢者世代の費用負担の不公平をなくし、世代間を通じた負担が明確で公平な制度として、平成 20 年度に創設されました。制度の安定的な運営のため、保険料収納対策の強化を図るとともに、医療費の抑制と被保険者の健康維持につながる健診事業などを積極的に行ってまいります。

予算総額は前年度に比べ 67 百万円、6.2%増の 11 億 42 百万円です。

7 主要事業の概要

(1) 次代へつなぐ新たなまち。

(単位：千円)

No.	課名	事業名	事業概要	予算額	備考
1	市街地整備課	海老名駅西口地区土地区画整理事業の本格着手	<p>《海老名市の長年の夢実現》</p> <p>昨年12月に設立が認可された「海老名駅西口土地区画整理組合」が、14.1ヘクタールの事業区域で土地区画整理事業に着手します。市では、基盤整備などを組合と協働で進めることにより、海老名駅の東西地区が一体となった中心市街地の実現を図り、海老名の魅力をさらに向上させ、県央の拠点市街地の形成を目指します。</p>	1,340,434	継続
2	駅周辺対策課	海老名駅自由通路（駅間部・西口部）の整備	<p>《海老名駅東西一体のまちづくり》</p> <p>海老名駅東西市街地の一体化に寄与する歩行者ネットワークの中心的施設として、駅間自由通路を拡幅整備するとともに、西口地区で進められる土地区画整理事業地内への延伸整備を行い、安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、交通結節点機能の強化を図ります。</p> <p>【事業期間及び事業費】</p> <p>①駅間部（H23～H26：2,659,380千円）</p> <p>②西口部（H25～H26：1,129,000千円）</p>	992,242	継続
3	道路整備課・市街地整備課	海老名駅西口地区関連道路の整備	<p>《新たなまちの交通円滑化に向けて》</p> <p>海老名駅西口土地区画整理事業の進捗に合わせ、西口地区の関連道路整備を推進し、新たなまちづくりにおける交通の円滑処理を図るため、(仮称)上郷河原口線、市道307号線、市道307号線バイパス、市道61号線の整備を推進します。</p>	555,659	継続
4	道路整備課	さがみ縦貫道路海老名IC関連道路整備の推進	<p>《道路網整備による住環境の改善》</p> <p>さがみ縦貫道路海老名ICから発生する交通量に対処するため、新たな交通網を整備し、交通の分散化及び住環境の改善を図ります。</p> <p>平成25年度は海老名ジャンクション付近の市道整備や市道53号線バイパスの整備を推進します。</p>	653,396	継続
5	道路整備課	歩行者の安全確保のための歩道整備の推進	<p>《安全・快適な道路空間の確保》</p> <p>歩車道の分離を図ることで、歩行者の安全性及び快適な道路空間を確保します。歩道のバリアフリー化により、交通弱者が安心して通行できる道路整備を推進いたします。</p>	275,990	継続
6	道路整備課	中央地区歩車共存道路の整備推進	<p>《海老名駅周辺地区の利便性向上に向けて》</p> <p>平成23～24年度に実施した市中心市街地を横断する38号水路のボックス化に伴い、上部の道路整備工事を行うことにより、海老名駅周辺の利便性向上を図ります。</p>	32,000	継続

(2) 未来を支えるこどもを育むまち

(単位：千円)

No.	課名	事業名	事業概要	予算額	備考
7	教育総務課	きれいで居心地のよい学校づくりの推進	《児童・生徒が快適に学校生活を送るために》 家庭における生活環境は、家電製品の進化などにより年々変化しているため、学校の生活環境を家庭環境に少しでも近づけることにより、児童・生徒が安心して快適に学校生活を送れる環境を整えます。このため、全小中学校のトイレに洗浄便座を設置するとともに、試行的に各学校に電気掃除機を配備します。	16,006	新規
8	学校教育課	いじめのない学校づくりの推進	《児童・生徒が笑顔で学校生活を送るために》 中学校でのいじめ問題を含めた生徒指導については、未然防止、早期発見、迅速な対応がきわめて重要であるため、指導體制の強化を図ります。このため、青少年相談センターにいじめ対策を統括する指導主事を、新たに1名配置するとともに、市内6中学校に市費による非常勤講師を1人ずつ配置します。	16,445	新規
9	教育指導課	コンピュータ利用教育の推進	《電子黒板、電子教科書などの充実》 情報化社会に対応するためにコンピュータ利用教育を推進し、児童・生徒が積極的にコンピュータ等の情報手段を活用できるようにするための資質や基礎的能力を培うとともに、学習指導の改善や充実を図ります。平成25年度は電子黒板機能内蔵プロジェクターや書画カメラ、学習指導用パソコンなどの充実を図ります。	155,465	充実
10	学校教育課	少人数指導の充実	《きめ細かい指導體制を確保》 35人学級の実施及び少人数指導體制の充実を図り、きめ細かい指導を行います。35人学級の積極的な推進に伴い、少人数指導やティームティーチングを行う県費負担教員が不足するため、市費により非常勤講師を配置することにより、きめ細かい指導體制を確保します。	16,560	充実
11	教育指導課	特別支援教育の充実	《補助指導員等の市費による配置》 通常級や特別支援学級に在籍し、特別に教育的支援が必要な児童・生徒に対し、個人に応じた支援を行うために、補助指導員・介助員・日本語指導講師などを配置することにより、学校での学習や生活への適応を図ります。平成25年度は介助員を増員します。	76,362	充実
12	教育指導課	えびなっ子サマースクール事業の実施	《夏季休業中の児童の居場所づくり》 児童の居場所づくりとして学校施設を開放し、学習や遊び、芸術体験の場を提供することにより、健全育成に寄与します。平成25年度は炊き出し体験を実施するなど、内容のさらなる充実に取り組みます。	8,167	充実
13	子育て支援課	私立幼稚園における給食の提供	《幼児期からの食育の推進》 幼児期からの食育の推進と小学校入学前における学校給食の準備も兼ねて、市内幼稚園3園の5歳児を対象として、「食の創造館」による給食を試行的に開始します。	7,011	新規

(単位：千円)

No.	課名	事業名	事業概要	予算額	備考
14	子育て支援課	子ども医療費助成事業の継続	《中学校3年生までの医療費助成》 平成23年度から助成対象を中学3年生まで拡大した、子ども医療費助成事業については、平成25年度も継続いたします。所得制限を設けず、入院・通院費用を助成いたします。	556,545	継続
15	子育て支援課	安全安心子どもパトロール事業の開始	《安全で安心な子育て環境の向上》 市内認可保育園及び私立幼稚園の巡回監視や、園児に対する防犯・防災訓練指導を行い、安全で安心な子育て環境の向上を図ります。このため、非常勤嘱託員（警察官OB等）が常時2名体制で巡回監視を行うとともに、防犯、交通安全に関する講話や、安全管理のための防犯・防災訓練指導を行います。	4,602	新規

(3) 災害に強いまち

(単位：千円)

No.	課名	事業名	事業概要	予算額	備考
16	危機管理課	南部地域大型防災備蓄倉庫の建設	《災害時防災資機材等の備蓄》 災害時における生活必需品や防災資機材等を備蓄し、市民の安全安心を確保するとともに、迅速かつ効果的な防災体制を構築するため、市内3箇所目の大型防災備蓄倉庫を南部地区に建設し供用を開始します。 【平成25年3月補正予算計上】	102,221	充実
17	危機管理課	避難所給水設備の整備	《災害時における飲料水の安定確保》 ①大規模災害時に市民等の飲料水を確保するため、災害時に拠点となるわかば会館に飲料水兼用貯水槽を設置します。 ②飲料水兼用貯水槽が設置されていない避難所において、地下水膜ろ過システムを1基試行的に設置をし、効果を検証いたします。なお平常時は水道水と併用して利用できることから、水道料金の削減効果も検証します。 【予算計上時期及び金額】 ※①は平成25年3月補正（151,000千円） ※②は当初予算（6,183千円）	157,183	新規・充実
18	危機管理課	災害時備蓄物品の充実	《災害時における非常食の安定確保》 当市において発生する確率が逼迫し被害が大きいと言われている神縄・国府津一松田断層帯地震における、当市の避難者及び帰宅困難者想定数の食糧を確保するため、平成23年度と24年度の2カ年で174,000食の増強を図り30万食を備蓄しています。平成25年度以降は30万食を備蓄し続けるため、順次更新します。	39,291	継続
19	危機管理課	災害時協力車両登録制度の創設	《災害時物資搬送の円滑化に向けて》 災害時に各避難所へ飲料水や各種備蓄物品を円滑に搬送するための手段として、市民の協力のもと、災害時に貨物車両の提供をしていただく「災害協力車両登録制度」を創設します。	137	新規

(単位：千円)

No.	課名	事業名	事業概要	予算額	備考
20	消防総務課	3市消防指令センターの建設	<p>《消防指令業務の共同運用》</p> <p>海老名市、座間市及び綾瀬市の3市による共同指令センター建設に引き続き取り組みます。人口34万人の119番通報を共同運用することにより、消防・救急活動の迅速かつ的確な相互応援体制を構築いたします。平成25年度から高機能消防指令システム整備と消防救急デジタル無線活動波整備に取り組みます。</p> <p>【総事業費：1,671,307千円】</p>	436,970	継続
21	健康づくり課	大規模トリアージ訓練の実施	<p>《大災害に備えた訓練の実施》</p> <p>大規模災害に備え、多数の傷病者が発生した際における救命の順序を決めるため、トリアージ訓練を市民、市医師会、海老名総合病院等と協力して実施します。なお実施にあたっては、市医師会に委託し、訓練結果によりマニュアル等を改定します。</p>	3,000	新規

(4) 誰もがいきいきと暮らせるまち

(単位：千円)

No.	課名	事業名	事業概要	予算額	備考
22	市民活動推進課	市民活動センター（レクリエーション館）の建設	<p>《協働のまちづくりの拠点施設の建設》</p> <p>市民の運動機能を維持向上し健康増進を図るとともに、スポーツを通じて市民活動を推進するため、平成26年8月の完成を目指し市民活動センター（レクリエーション館）を建設します。</p> <p>なお、当施設は平成25年3月にオープンする市民活動センター（交流館）に併設します。</p> <p>【事業年度及び総事業費】</p> <p>・H24～H26年度、27億600万円</p>	1,758,687	継続
23	市民活動推進課	(仮称)えびな市民大学の創設準備	<p>《まちづくりを担う新たな人材育成》</p> <p>市政に幅広く提言・意見を発信する人材や、生涯学習を通じて地域で活躍する人材など、まちづくりを担う新たな人材の育成と活動支援を行うため、市民活動センター（レクリエーション館）のオープンと同時に、えびな市民大学の開校を目指します。</p> <p>なお、平成25年度は管理運営方法やカリキュラムの検討を行い、プレ開校として講座を実施します。</p>	5,230	新規
24	地域自治推進課	コミュニティセンターの計画的な大規模改修	<p>《バリアフリー化の推進など》</p> <p>多様化する市民ニーズへの対応、バリアフリー化の推進などを目的として、コミュニティセンターの大規模改修を計画的に実施します。平成25年度は、上今泉コミュニティセンターの改修工事を実施します。</p>	243,795	充実
25	健康づくり課	予防接種事業の充実	<p>《重症化の予防に向けて》</p> <p>伝染性疾患が地域で蔓延しないよう、予防接種実施のより一層の勧奨に努めます。なお、肺炎球菌による肺炎の発症が高齢になるほど高くなることから、平成25年度は新たに高齢者肺炎球菌ワクチン接種を実施します。</p>	323,228	充実

(単位：千円)

No.	課名	事業名	事業概要	予算額	備考
26	高齢介護課	介護ボランティアポイント制度の創設	<p>《ボランティア活動を通じた介護予防》</p> <p>高齢者の社会参加と生きがいをづくり、ボランティア活動を通じた介護予防を目的とし、高齢者が介護施設等で社会貢献活動を行うとポイントを獲得できる、介護ボランティアポイント制度を創設します。獲得したポイントで白石市、登別市及び海老名市の特産品等と交換できるものとし、</p> <p>【介護保険事業特別会計で実施】</p>	1,586	新規
27	高齢介護課	介護老人福祉施設建設に対する助成	<p>《介護老人福祉施設の充実》</p> <p>海老名市高齢者保健福祉計画では、平成26年度までに介護老人福祉施設を100床増床し、513床とすることとしていますが、市内社会福祉法人が行う120床の施設整備に対して支援を行うことで、平成26年度末には計画目標を達成いたします。</p>	54,720	新規
28	障がい福祉課	わかば会館の大規模改修	<p>《障がい福祉の拠点整備》</p> <p>経年劣化による老朽化が進む「わかば会館」の大規模改修に向けた設計を実施します。障がい福祉の拠点にふさわしい機能を有する施設として整備します。</p>	13,335	新規
29	道路整備課	「ウォーキング・ラン・タウンえびな」の事業開始	<p>《健康推進に向けた歩道整備計画》</p> <p>健康を推進するという新たな考え方を取り入れた歩道整備計画である「ウォーキング・ラン・タウンえびな」による横須賀水道路の歩道整備を行い、ウォーキングやジョギングにより健康増進に努めている市民に、より安全な場を提供してまいります。</p>	22,000	新規
30	住宅公園課	市営国分北三丁目住宅の大規模修繕	<p>《施設長寿命化に向けた大規模修繕》</p> <p>市営住宅長寿命化計画に基づき、市営国分北三丁目住宅の大規模修繕を行い、安全で快適な居住空間を提供してまいります。</p>	90,219	新規
31	住宅公園課	市営上河内住宅の建設	<p>《老朽化した市営杉久保住宅の建替》</p> <p>老朽化している市営杉久保住宅の建替事業として南部給食センター跡地に新たに市営住宅を建設いたします。なお、平成24年度中の補正予算において、用地取得費や実施設計の予算化を図っております。</p> <p>【平成25年1月及び3月補正予算計上】</p>	42,289	新規
32	住宅公園課	空き地・空き家の適正管理に関する条例制定	<p>《空き地・空き家の適正管理に向けて》</p> <p>空き地や空き家等が放置され、雑草の繁茂、ごみの散乱、火災の恐れなど、管理不全な状態を防止し良好な住環境を維持するため、平成25年度中に(仮)空き地・空き家の適正管理に関する条例の制定を目指します。この基礎資料とするため住宅実態等調査を行います。</p> <p>【平成25年1月補正予算計上】</p>	15,000	新規
33	文化スポーツ課	(仮称)中野公園パークセンター等の整備	<p>《施設の有効活用に向けて》</p> <p>(仮称)中野公園に高架下駐車場や管理棟を整備するとともに、公園全体の管理施設となるパークセンター建設に向けた設計を実施し、施設が持つ機能を十分発揮できるようにします。</p> <p>【平成25年3月補正予算計上】</p>	65,500	新規

(単位：千円)

No.	課名	事業名	事業概要	予算額	備考
34	文化スポーツ課	えびな薪能・野点の開催	《芸術文化の育成のために》 市の優れた歴史遺産である「相模国分寺跡」において、引き続き「えびな薪能」を開催します。さらに、「野点」を実施することにより、日本の伝統文化に触れる機会を創出します。	7,636	新規・継続

(5) 産業も元気なまち

(単位：千円)

No.	課名	事業名	事業概要	予算額	備考
35	商工課	商店街の活性化に向けた検討	《商店街の活性化》 空き店舗が増えている国分寺台中央商店街の維持・継続に向けて、今後のあり方についての検討及び施設整備の方向性を検討し支援します。	3,500	継続
36	商工課	企業立地促進事業の継続	《優良企業の誘致のために》 平成20年度から優良企業の立地促進に取り組んだ実績を検証した結果、地域経済の活性化、雇用の場の創出や税収増などに効果的であったことから、制度を充実した上で継続いたします。	33,000	充実
37	農政課	農業基盤整備事業の推進	《農用地の大型化に向けた畦畔除去》 農業基盤整備を推進します。平成25年度は、農業振興地域内農用地の農作業を効率的に行うことを目的に、一区画の農地を大型化するため、一部の地区で水田の畦畔の除去を試行的に行います。	66,958	新規
38	農政課	農業拠点づくりの推進	《農地の有効活用と遊休農地解消に向けて》 市がコンバイン等の農機具等を貸し出すことにより、地域営農団体を中心とした農作業受委託を促進し、農地の有効活用と遊休農地の削減を図ります。	4,465	継続

(6) 地球に優しい未来を海老名から

(単位：千円)

No.	課名	事業名	事業概要	予算額	備考
39	障がい福祉課	障がい者デイサービスセンターに太陽光発電設備を設置	《災害時における電力安定確保》 災害時における電力の安定確保に向けて、障がい者デイサービスセンターに太陽光発電設備及び蓄電池設備を設置します。平常時には、地球温暖化対策として、温室効果ガスの排出抑制に努めます。 施工に当たっては、県補助金(10/10)を活用します。	35,128	新規

(単位：千円)

No.	課名	事業名	事業概要	予算額	備考
40	環境みどり課	環境保全対策支援事業費	《省エネルギー施設の普及に向けて》 太陽光発電施設など、温室効果ガス削減に有効な省エネルギー施設等の普及を促進するため、市民・市内事業者等に、導入・設置費用の一部を補助します。照明設備（LED）の設置を新たに補助対象に追加いたします。環境基金を財源の一部として活用し、県内でもトップクラスの助成を行います。	30,988	充実
41	資源対策課	資源化センター大規模改修基本計画の策定	《改修に向けた基本計画の策定》 設備の更新時期を迎えるに当たり、リサイクルプラザを含めた施設の配置や設備更新に関する基本計画を策定します。 【H25～H26継続費：総額16,212千円】	7,040	新規
42	環境みどり課	「森の楽校」事業の推進・支援	《楽しみながら森づくりを》 市民団体として発足した「森の楽校」の活動を充実するため、支援を図ります。森とみどりを造り、育て、守り、未来へ伝えていく活動を推進します。	510	継続

(7) 行政改革の継続的な取り組み

(単位：千円)

No.	課名	事業名	事業概要	予算額	備考
43	窓口サービス課	総合窓口業務の民間委託	《市民サービスの向上》 平成24年5月からスタートした市役所1階の総合窓口を進化させ、市民サービスの一層の向上を目指し、民間事業者の技術、創意工夫等を活用し、効率的で効果的な案内及び窓口業務を実現するため、フロア案内及び一部の窓口業務の委託化を行います。平成25年7月から実施いたします。	67,497	新規
44	収納課等	市税収納率の向上対策	《負担の公平性の確保》 歳入の根幹である市税について、適切な課税を行うことはもとより、税負担の公平性の確保を図るため、引き続き収納環境の向上を図ることにより、収納率の向上に取り組みます。	—	継続
45	企画財政課・教育指導課	民間活力の導入による中央図書館の改修・運営の検討	《施設の抜本的な見直しを含めた検討》 交通至便な海老名駅に直近している中央図書館については、より使いやすく、より多くのサービス提供が可能な施設と考え、改修にあたっては、運営方法も含め、民間活力の導入も視野にいたした検討を開始します。	—	新規
46	—	第6次海老名市行政改革大綱の断行	《まちづくりの正念場を乗り切るために》 まちづくりの正念場を乗り切り、ハード・ソフト両面にわたる「次代へつなぐまちづくり」を推進するために、今後策定する「海老名市第6次行政改革大綱」に基づく行政改革を断行し、まちづくりに必要な財源の捻出に努めます。	—	継続

8 用語の説明等

(1) 用語の説明

※1 借換債

借換債とは、既存の市債の借換えのために発行される市債のことをいいます。

第2回海老名みのり債(発行金額5億円)は5年満期一括償還で発行しましたので、満期日に購入者の皆様に総額5億円を償還しますが、起債時に県知事から同意を受けた償還年限(20年)内において、借換えを行うことができます。本市では、公債費負担の平準化を図る目的で市債管理基金を設置しており、5億円を償還年限20年で除した2,500万円を毎年度積み立てておりました。今回、5億円の償還に際し、市債管理基金に積み立てた1億2,500万円(2,500万円×5年)を取り崩したうえで5億円に充当し、差額の3億7,500万円については銀行等から借換える予定です。したがって、3億7,500万円については、歳入予算に計上するものの、市債残高の増加とはならず、5億円から3億7,500万円を差し引いた1億2,500万円の市債残高が減少することになります。

※2 臨時財政対策債

地方債の一種であり、国の地方交付税特別会計の財源が不足した場合に、地方交付税の総額を減らし、その穴埋めとして、地方公共団体自らに地方債を発行させる制度。地方債を発行する形式を取るが、その元利償還金は後年度の地方交付税で措置されるため、実質的には地方交付税の代替財源とみて差し支えないと言われております。従来、人口基礎方式と財源不足額基礎方式で発行可能額が算定され、普通交付税不交付団体であっても発行することが出来ましたが、平成25年度から財源不足額基礎方式に完全に移行されるため、普通交付税不交付団体は発行することが出来なくなります。

※3 歳出予算(目的別)

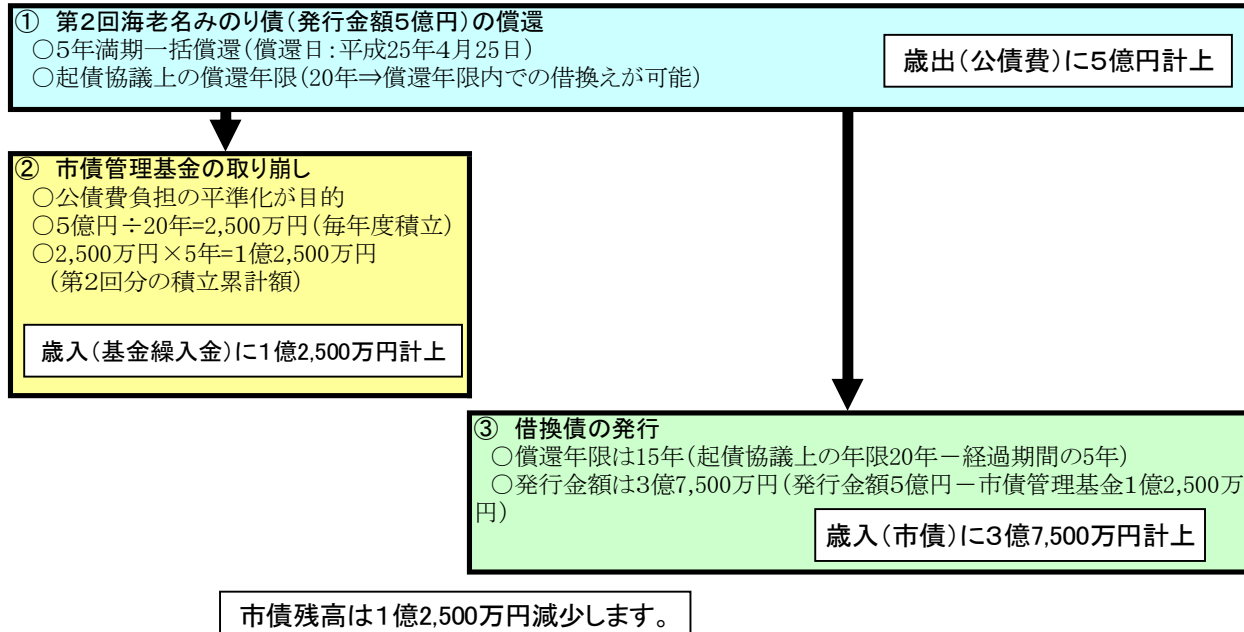
地方公共団体の経費を、その行政目的別によって議会費、総務費、民生費、衛生費、土木費、消防費、教育費等に分類することであり、予算における款、項の区分を基準としたものです。目的別分類は地方公共団体の行政目的別の比重を知ることができる分類方法です。

※4 歳出予算(性質別)

地方公共団体の経費を、その経済的性質を基準として、人件費、物件費、維持補修費、補助費等、普通建設事業費、公債費等に分類することであり、予算における節の区分を基準としたものです。地方公共団体の経費の構造をみる場合、経費を「義務的経費」(人件費、扶助費及び公債費)、「投資的経費」(普通建設事業費、災害復旧費及び失業対策費)、「その他の経費」(物件費、維持補修費、繰入金、補助費等、貸付金など)の3つに分類する方法もあります。

性質の分類は、当該団体の財政の体質を分類するうえで必要なものであり、この分類の結果から財政運営の指針を見出すことが出来ます。

(2) 借換債のスキーム



上記により、

- ・歳入(市債)に3億7,500万円計上されますが、実際の市債残高が増加するものではありません。
- ・市債残高としては、市債管理基金繰入金1億2,500万円分が減少することになります。
- ・借換債の発行により、公債費負担が平準化され、安定的な財政運営を行うことが可能になります。